

## 明細書 Lint 1.3.0 の新機能一覧

令和 4 年 6 月 5 日 綾木 健一郎

### 1. 何をするものなのか

明細書 Lint は、特許明細書原稿の細かな不具合を検査するものです。請求項／明細書／サポート要件／文長の主要機能があります。消去は、検査結果のマーカやコメントを消去するものです。40x50 と 36x29 は、WORD の段落を明細書の書式に合わせ、かつインターネット出願ソフトの形式に合わせるものです。

### 2. 各機能の紹介

シャイロ

前記

請求項 1

「請求項」・・・請求項の引用関係と前記の記載をチェックします。修正が必要な部分については Word のコメントで不具合が指摘されます。

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】

□基部の一端側から所定方向に伸びる一対の振動腕を有する圧電振動片と、

□前記圧電振動片を囲む圧電外枠と、

□前記振動腕の両外側において前記基部から前記所定方向に伸びる一対の支持腕と、

□前記支持腕と前記圧電外枠とを接続する前記接続腕と、を同じ平面内に備え、

□前記接続腕が前記平面内で曲げ剛性の低い構造を有していることを特徴とする圧電フレーム。

【請求項 2】

□前記接続腕と前記圧電外枠とが接続する領域の上方又は下方に、前記圧電外枠の一部を切り欠いた切り欠け部が形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の圧電フレーム。

AppLint

:前記されていない

返信

### 【明細書 Lint-請求項の実行例】

#### ・前記のチェック結果

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
有する圧電振動片と、		前記付き名詞より前に記載された名詞(先行詞)。	
前記圧電振動片を囲む		前記付きの名詞で、正常に記載されているもの。	
前記送信部		前記付きの名詞で、複数の名詞が先行して記載されているもの。	修正した方がよい
前記接続腕	前記されていない	前記付きの名詞で、これより前に記載されていないもの。	要修正

#### ・請求項の引用部のチェック結果：

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
請求項 1 に記載の		引用部で、正常に記載されている。	
請求項 1 ～ 2 に記載の	請求項が択一的に引用されていません	択一的に引用されていない。	要修正
請求項 3 記載の	引用する項番号(N)が不正	引用先が不正。	要修正
請求項 1 から請求項 6 の何れか一項に記載の	マルチマルチクレーム	マルチマルチクレームの記載。	出願日が令和 4 年 4 月 1 日以降ならば要修正

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】

□ネットワークで接続された利用者端末に、放送局より受信した番組の映像に広告情報を埋め込んで再配信する再配信サーバにおいて、

□受信されたデジタル映像データに対しトランスコーディングを施す事により該デジタル映像データより低レートの再配信映像データを生成する映像蓄積手段と、

□広告情報を蓄積する広告情報蓄積手段と、

□利用者端末からの番組の配信要求を受け付ける要求受付手段と、

□配信要求を受けた番組の再配信映像データを前記映像蓄積手段から取り出す再配信データ探索手段と、

□を具備することを特徴とする映像再配信サーバ。

【請求項 2】

□前記広告情報の広告提供者に対しては広告料金を請求し、前記番組の放送局に対しては映像利用料金を支払う広告料金清算手段と

□を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の再配信サーバ。

AppLint

: プリアンブルには「映像再配信サーバ」を記載

返信

AppLint

: 発明の名称または要素が請求項 1 と相違

返信

## 【明細書 Lint-請求項の実行例】

### ・プリアンブルのチェック結果

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
再配信する再配信サーバにおいて、	プリアンブルには「ブリッジ型抵抗回路装置」を記載	「～であって、(改行)」 「～において (改行) などと記載されたプリアンブル部分と、発明の名称との不整合。	修正の方がよい

### ・発明の名称のチェック結果：

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
映像再配信サーバ		発明の名称で、正常に記載されているもの。	
再配信サーバ	発明の名称または要素が請求項 1,2 と相違	引用先との不整合あり。	要修正



「明細書」・・・符号の記載をチェックします。

□符号 7 に示す広告情報の入力促す方法の例を図 4 に示す。広告依頼者 3 は、広告を埋め込みたい番組を指定してもよいし、特に指定しなくても良い。挿入方法は、ビデオクリップを従来のいわゆるコマースルとして組み込んでも良いし、画面の上部あるいは下部などにテロップ広告あるいはバナー広告として組み込んでも良い。さらに、組み込まれたビデオクリップやテロップから他の広告への URL へのリンクをはっても良い。

□また、サービス提供者 2 は、サービス利用者 4 に対し、図 1、および図 3 中の符号 10 に示すように、コンピュータネットワークを介して、サービス利用者 4 が再配信を希望するテレビ放送映像を一意に定め得る配信希望番組情報 11 の入力促す手段として、サービス提供者 2 がサービス提供可能な番組リスト 10 を提供する。これによりユーザより返信される配信希望番組情報 11 は、再配信データ探索部 27 に入力される。

□番組として示す配信希望番組情報 11 の入力をサービス利用者 4 に促す手段の一例を図 5 (a)、(b) に示す。図 5 (a) に示すインタフェースを用いて、サービス利用者 4 に再配信希望番組情報 11 の入力を促す。サービス利用者 4 は、図 5 (a) 上部に示す番組表内の各番組名をマウスでクリックするか、あるいは図 5 (a) 下方に示すダイアログにより再配信希望番組情報 11 をサービス提供者 2 に出力する。登録された再配信希望番組情報 11 は、図 5 (b) に示すインタフェースを用いて、確認の後にサービス対象として登録される。

□再配信データ探索部 27 では、番組表データベース 24 より入力される番組リスト 10、

AppLint

: エラー「番組表 10」

返信

AppLint

: エラー「番組表 10」

返信

AppLint

: エラー「配信希望番組情報 11」  
2022年6月5日、23:52

返信

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
番組表 10		要素名と符号が対応しています。	
番組リスト 10	エラー「番組表 10」	要素名と符号が対応していません。コメントで修正候補が提示されています。	要修正
番組表は		要素名が単独で記載されている可能性があります。	要検討



「サポート要件」・・・請求の範囲の用語が実施形態にサポートされているかをチェックします。

【書類名】特許請求の範囲

【請求項 1】

□ネットワークで接続された利用者端末に、放送局より受信した番組の映像に広告情報を埋め込んで再配信する映像再配信サーバにおいて、

□放送局よりテレビ放送映像を受信し、受信映像を圧縮符号化することにより再配信映像データを生成するか、あるいは放送局よりデジタルテレビ放送を受信した場合は、受信されたデジタル映像データに対しトランスコーディングを施す事により該デジタル映像データより低レート再配信映像データを生成するか、あるいは単に該映像データをそのまま再配信映像データとして、再配信映像データを蓄積する映像蓄積手段と、

□広告情報を蓄積する広告情報蓄積手段と、

□利用者端末からの番組の配信要求を受け付ける要求受付手段と、

□配信要求を受けた番組の再配信映像データを前記映像蓄積手段から取り出す再配信データ探索手段と、

AppLint

:未サポートネットワーク

返信

AppLint

:未サポート利用者端末

返信

マーカの色	コメント	意味	修正の必要性
放送局		実施形態にサポートされています。	
利用者端末	未サポート:利用者端末	実施形態にサポートされていません。	要修正



「文長」・・・文章の長さが100文字を超えるものと、その他文章の形式的な部分をチェックします。コメントを付与すると共に、検査した Word ファイルと同名の CSV ファイルに、エラーログを出力します。



「消去」・・・マーカとコメントを消去します。



「40x50」・・・40文字50行の書式に変更します。その際、インターネット出願ソフトに掛けられるように出来るだけ修正します。ブックマーク、巻末注、脚注、ハイパーリンク、コントロールを削除し、変更履歴とフィールドはテキストに修正します。段落は左揃えとし、インデントは全角スペースに変換します。フォントスタイルは下線と上付き／下付きを除いて修正します。



「36x29」・・・36文字29行の書式に変更します。その際、インターネット出願ソフトに掛けられるよう、出来るだけ修正します。



「認証」・・・現在の認証状態を表示します。

### 3. 操作方法

- （1） ネットワークに接続していることを確認してください。
- （2） WORD を起動して、所望の明細書ファイルを開いてください。
- （3） 各ボタンをクリックして、細かな不具合部分にコメントやマーカを表示させ、その部分を修正します。
- （4） チェックが完了したならば、消去ボタンでコメント／マーカを消去してください。

## 5. 各エラーメッセージの詳細



### 「文章長さ」

エラーメッセージ	意味	修正の必要性
・・・文字	・・・文字を超える長さの文章	修正した方がよい
主語が存在しません	主語が存在しない文章	修正した方がよい
括弧の不整合	文章中の括弧が整合していない	要修正
句点無し	文章が句点で終了していない	要修正
請求項番号の直後の文章	【請求項1】などの直後に記載あり	要修正
「段落」の直後の文章	【0012】などの直後に記載あり	要修正
行頭のスペース無し		要修正
行頭のスペースがn個		要修正
読点がカンマとして記載されています		要修正
カンマが読点として記載されています	数字や符号の区切りに読点を記載。	修正した方がよい
句読点やカンマが連続しています。		要修正

以上